

マネージメント情報

※ 最近思うこと…

みなさんは農場で家族に、あるいは従業員さんに夢を話していますか？
私がなぜこんな事を書くか？という、どこの農場でも農場主、従業員さんと話すと思つた以上にそれぞれの不満を良く聞ききます。一般的に人間は不満を持ちがちな生き物だと思いますが、それにしても同じ職場(農場)で、それぞれ異口同音に不満を持ち、その不満を口にする場合もあります。往々にして口にせず、内に秘めていて悶々としているように感じます。

どこの農場も人手不足でみなさんいっぱいいっぱい毎日の仕事をこなしています。そのような状況の中で、ある日突然誰かが辞めていくことが多々あります。

そして、また労働環境が悪くなり不満が増長、増幅していき、最終的にそのしわ寄せが牛にいくという負のスパイラルに入ってしまう。

ちょうど三年前に Pfizer の協力で山南秀男氏を講師に迎えて「酪農場における雇用関係(人事・研修ノウハウ)について」というセミナーを合計4回行いました。

この手の類いのセミナーに参加して話を聞くだけで問題が解決するほど簡単なことではないわけですが、現状を続けていても状況が変わらないことも現実な分けでして……。

そんな中、講師の山南先生が師と仰ぐ、株式会社アントレプレナーセンター代表の福島正伸氏という方の名言集を思い出し、日々の酪農現場でも通じるものがあるかなと思いましたので、紹介します。

批判は「感謝」に勝てません。

批判や中傷をする人がいくらいても、その人たちに常に「感謝」の気持ちで接触しておくのです。

「ありがとうございます」と一言、

伝えるのです。

すると、必ずいつか、その人たちも仲間になります。

つまり、「感謝」がすごいのは、最後はまわりの人をすべて仲間にしてしまうということです。

いかに自分自身に根本的な原因を探るか。

人のせいにするとう信頼関係が崩れてしまいますが

自分に原因を探すと信頼関係が強くなります。

福島正伸 名言集より抜粋

現在も山南先生は全国を飛び回っていて、雇用関係のセミナーの依頼は年々想像以上に、しかも様々な業種で増えているそうです。同じ悩み抱えている経営者が日本中にたくさんいるということです。

みなさんは農場で自分の夢を持っていますか？その夢を熱く語っていますか？自分の仕事に誇りを持っていますか？ そうでなければみなさんが思うような人材は集まらないのが現実かもしれません。

.....
・8月のこの欄で紹介しました OPU-IVF にいよいよ取り組む事になりました。現在は体外受精卵の培養系の手技をマスターすべく取り組んでいるところです。必要な器材が全てそろい本格的に動き出すにはもう少し時間がかかりそうですが、OPU-IVF は牛の繁殖技術の革命的な技術ですので一日でも早くその恩恵をみなさんの農場の届く事ができるように技術を磨いていきますので、乞うご期待!!!!